

---

# Angel Beats! SIDE 『I』

クラウン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

A n g e l   B e a t s !            S I D E   『 I 』

### 【Nコード】

N 0 5 4 3 Z

### 【作者名】

クラウン

### 【あらすじ】

死んでしまい、記憶がなくなってしまった少年 真田。

彼は、死後の世界で神に抗い、歌う一人の少女に出会った。

## 第一話 入隊（前書き）

A B ! の二次創作です。

暖かい目で見てほしいです。

## 第一話 入隊

「ここは……どこだ？」

満月が輝き、星が夜空を埋め尽くしているきれいな夜、俺は目を覚ました。

辺りを見回す。

どうやら学校のようなだが、いつも見慣れた学校ではなく、着ている制服もデザインが全く違う。

「どうなってんだ？」

そう言いながら立ち上がると……

「目が覚めた？」

不意に声をかけられた。

声のした方を向くと、紫の短髪と頭に結んだリボンが特徴の女の子がいた。

「あんた……誰？」

「そういうことを聞くときはまず自分から名乗るべきじゃない？」

腕組みをして仁王立ちをしているその女の子は、強気な姿勢で俺の質問に答えた。

「ああ、そうだな……俺の名前は……えっと……さ、真田？」

名前を言おうとしたが、なぜか名字しか思い出せなかった。

「いや、そこ疑問系にされても困るんだけど……」

「仕方ないだろ。わかんないんだから……。で、あんたは？」

そう言っで、女の子に改めて質問した。

「私はゆり。……そっか、記憶がないのね……。まあ、大丈夫よ」

「初対面の人に大丈夫だと言われても何一つ安心できないんだけど……」

「うるさい！ 文句言わない！……オホン！……えー…真田君！  
今すぐ『死んでたまるか戦線』に入隊しなさい！」

ゆりはその指を突きつけて言った。

## 第一話 入隊（後書き）

第一話でした。

これからなるべく早いペースで書いていけたらいいなと思っています。

感想、コメント等お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0543z/>

---

Angel Beats! SIDE 『I』

2011年12月1日23時46分発行